

HIROSHIMA
GLOBAL
ACADEMY
Junior & Senior High School

HI
G
A





HiGAと ともに築く 未来の自分

常に進化し続ける Learning Community、それが私たちのHiGAです。

HiGAの最大の魅力は、生徒自身が主体的にコミュニティを創り上げていく文化です。開校からの年月は浅いですが、それゆえに Mission・Vision・Valuesに挙げる理念の下、HiGAでは型にはまらない柔軟な活動が受け入れられます。一人ひとりがHiGAを自分ごとに捉えて、能動的に行動を起こせる環境がHiGAには存在します。

私は、そんなHiGAの歴史を築く一員であることを誇りに思います。

HiGAの物語は、まだ始まったばかりです。

みなさんも一緒に、その1ページを刻んでみませんか？

この学校でなら、あなたの可能性は無限大です。

藤川 空風 / Kufu Fujikawa
広島県広島市出身。小学校で児童会長を務めた経験から、リーダーシップを強く意識するようになる。更なる成長と実践の場を求め、HiGAに一期生として入学。当初は英語を全く喋れなかったが、HiGAの恵まれた環境の中で積極的に取り組み、高校生で初めての海外を経験。また、初代生徒会長としてHiGAの「礎」を築くことに尽力。学校文化を作っていくため、HiGAのMission・Vision・Valuesを体現する Learning Community (主体的に学び合える共同体) の実現を目指した。環境問題へ関心があり、将来は科学の力で持続可能な社会に貢献したいと考えている。

HiGA MVV

MISSION

ミッション

学びを通じて平和な社会づくりを実現し続ける存在となることを目指す

TO BE A GLOBAL LEADER IN BUILDING PEACE WITH THE POWER OF "LEARNING".

VISION

ビジョン

社会の持続的な平和と発展に向け、世界中のどこにおいても
地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダーを育成する

TO FOSTER LEADERS WHO CREATE IN THEIR COMMUNITY "A BETTER FUTURE"
FOR PEACE AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT.

「学びの変革」の目指すべきモデルとなる

TO BE AN EXCELLENT MODEL IN "LEARNING INNOVATION".

VALUES

バリュー

「グローバルな視野」と「地域に根ざした心」の双方を大切にし、
主体的に学び続ける「ラーニングコミュニティ」を形成する

TO BE A LEARNING COMMUNITY WHOSE GLOBAL VISION IS ROOTED IN LOCAL CONTEXT.



SCHOOL EMBLEM 校章

3つの波のイメージで、色は瀬戸内海の色や
日本の伝統色を意識した。

一つ一つの波はHiGAのMission, Vision, Valuesを表す。

Mission = 「平和」

Vision = 「リーダーとしての心」

Values = 「学び続けるための知性」

小文字の「h」を想像させる余白を作り、

「広島叡智学園」の頭文字を印象付けられるようにした。

また、その余白は「人」という文字にも見えるようにし、

広島叡智学園に人が集まるデザインにした。

From HiGA Student

校章も自分たちの手で

最終的に私の考えた原案デザインをもとに様々な方に協力していただき、現在の校章が完成しました。1期生、2期生一人ひとりがアイデアを出し、生徒それぞれが抱くHiGAへの強い想いが校章に込められています。これら様々な想いを胸に、これからも私たち生徒自身の手でHiGAをここにしかない学びができる場所にしていきたいです。

GLO



HiGAでひろがる グローバルな学び

黒木 碧恵 / Tamae Kurogi

広島県府中市出身。小学校で海外からの転校生と出会い英語学習やグローバルな学びに興味を持つ。HiGAに一期生として入学。未来創造科や各教科での探究学習を通じ、地元や島の過疎問題、海洋汚染等の環境問題に興味を持つ。現在は商品開発や、こども家庭庁での委員会活動等の課外活動にも取り組んでいる。将来は政策を学び、地方の過疎や地域格差をはじめとする社会問題に取り組みたいと考えている。

国際バカロレアの学び、高校からの留学生との暮らしなど、世界的な視野を育むことができる「グローバル」な学びはHiGAだからこそできるものだと思います。その一方で、地域基盤の「ローカル」な学びも大切にしているのがHiGAです。私は本校での5年間の学びを通じて、地域から世界へと広がる「グローバル」な学びに魅力を感じました。「未来創造科」の授業はその一例です。

私は、「未来創造科」の学習をきっかけに、島の特産品を使った商品開発プロジェクトを行いました。地域の方と関わる中で、海洋汚染の問題や、農業の後継者不足など、身近にある社会的な課題を知りました。そのプロジェクトは、現在私が参加している様々な課外活動や大会にも繋がっています。HiGAは、生徒が興味を持つ学びやチャレンジを応援してくれます。また、大崎上島の豊かな環境や人々は、皆さんの学びのヒントになると思います。HiGAで、探究的に学び、世界に視野を広げて行きましょう！

Unforgettable memories in HiGA

Some of my best memories in HiGA have been in the different activities and festivals held on the island. A big part of Osakikamijima's charm is in its people, and the community has always welcomed international students and gone out of its way to help us experience Japanese culture. From having a traditional Japanese tea ceremony or learning the mochi-making process at school, to helping in rice planting and attending firework festivals, every activity has resulted in unforgettable memories.

HiGAでの一番の思い出は、島で開催されるさまざまなアクティビティやお祭りです。大崎上島の魅力の大部分は島に住む人々にあり、地域は常に留学生を歓迎し、私たちが日本文化を体験できるよう手を差し伸べてくれました。伝統的な茶道や餅つきを学校で体験したり、田植えを手伝ったり、花火大会に参加したりと、どの活動も忘れられない思い出になりました。

Adriel Mendoza

A student from Mexico, who enjoys sports, music, and photography. In HiGA, He has been a unit leader on several occasions and participated in the organization of multiple events. During elementary school and junior high school, he participated in multiple storytelling and speech contests, as well as in national handball competitions. In the future, he wants to study biochemical engineering to help solve the current climate crisis and human health issues.

メキシコ出身。スポーツ、音楽、写真が好き。HiGAでは、ユニットリーダーや、イベントの運営に複数参加。小学校、中学校時代は、読み聞かせやスピーチのコンテスト、ハンドボールの全国大会などに出場。将来は生物化学工学を勉強し、気候危機や人類の健康問題の解決に貢献したいと考えている。



野島 由衣 / Yui Nojima

広島県呉市出身。1学年約20人の少人数の小学校で過ごし、より多様な背景を持つ人たちと出会いたいと思うようになる。そんな時、全国から大崎上島に集まり学ぶ叡智学園を知り興味を持つ。当時から「誰かのためになることをしたい」という想いはあったが、その想いがどこから来て、どう実現したいのか解らなかった。果敢に新しいことに挑戦する同級生に刺激を受け、環境問題に対するイベントの開催、ビジネスコンテストへの参加、寮のリーダーを務めるなど自分の興味を超えて挑戦。様々な挑戦していく中で「貧困」という課題を深掘りする機会に出会う。知れば知るほど貧困は人生を左右する根深い問題だと実感し、貧困に苦しむ人を1人でも多く減らすために活動していきたいと考えている。

昨年10月に行われたヨーロッパ大学視察では、「自分自身を深く理解し可能性を広げる経験」ができました。この視察は、生徒の自主性が重要視されていた点で一般的な修学旅行とは大きく異なります。移動は生徒のみで公共交通機関を利用して行き、海外で一人で暮らす上で持つべき危機感や責任感を身をもって体験することができた上に、オランダで生活する自分の解像度を高めることができました。以前は、「私に海外進学なんてできないだろう」と臆測で海外進学のハードルの高さを決めていました。しかし、海外での生活がイメージできて、「正しい」ハードルの高さを知ったことで本当は海外の大学に行きたかったんだと自分自身を理解することにもつながりました。国際バカロレアが取得できるこの学校だからこそできる海外進学を通じて、自分が心から学びたいことを心から学べる場所で学んで夢に向かって前進していきたいです。

この環境だから描けた
海外進学への夢



生徒主体で探究的な学びに魅力を感じ、HiGAに入学してから、4年目を迎えました。周り比べて得意なことが少ないと感じていた私は、「何かやってみよう!」と自分が好きなこと、興味のあることへの挑戦を続けました。

HiGAに入学し、多くの仲間との出会いを通して、自分自身について考え、挑戦する機会が増えました。私はHiGAの魅力としても挙げられる“生徒主体”が自分自身を変化させてくれたと思います。バックグラウンドや価値観の異なる仲間との生活の中で様々な視点の意見に触れることは、新たな考えや経験を吸収することができ、“挑戦する力”を向上させることに繋がります。HiGAの環境や学習は、クリエイティブな意見の尊重や新たな発見の連続だと思います。ぜひ皆さんも、新しい自分に出会える一歩を踏み出してみてください。

ここから踏み出す挑戦の一歩

宋 友嘉 / Yuka So

山口県周南市出身。日常的な「?」から始まる、生徒主体の探究的な学びに興味を持ち叡智学園の受験を決定。語学力の向上に限らず、異文化の交流に興味があり短期留学や異文化交流プロジェクトに積極的に参加している。将来は、コミュニケーションスキルやリーダーシップを活かして、日本と世界をつなぐビジネスリーダーとなることを目指している。



INITIATIVE



学びで重点的に育成する力

様々な場面で活用できる
知識・技能の深い理解

新しい価値を生み出す
創造的・批判的思考力

目標に向かって
やり抜く力・自信

異なる文化・価値観を持つ人々と
協働する力

日本語でも英語でも議論・協働できる
高い語学力

HiGAでの学び

HiGAは、生徒主体の探究的な学びと国際的な環境が融合した場所です。
生徒はIBプログラムを通じて異文化交流を経験し、自己成長を促進していきます。
教職員はファシリテーターとして、生徒の考える力を支援し、
彼らが地域や世界をリードするリーダーへと成長する手助けを行います。



学びの5つの特色

- 1 HiGAの国際バカロレア (IB) P.11
- 2 生きた英語力 P.13
- 3 将来を見据えた学習プログラム P.15
- 4 未来創造科 P.17
- 5 マネジメント力を伸ばす学習環境 P.19

International Baccalaureate HiGAの 国際バカロレア (IB)

変化の激しい時代において、
グローバル人材の必要性が一層高まっていく中、
国際バカロレアでの学びを通して
「国際的な視野」の獲得と
「生涯にわたって学ぶスキル」を身につけた
人材育成を目指します。



IBに関する詳細はこちら
左記 QRコードからご覧頂けます。
URI : ibconsortium.mext.go.jp/about-ib/

国際バカロレア (IB)

国際バカロレアとは、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラムのことです。国際バカロレア（IB: International Baccalaureate）は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確認することを目的として設置されました。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「IBとは」より

国際バカロレア認定校 (IB World School)

国際バカロレア認定校 (IB World School) とは、国際バカロレア機構から、国際バカロレアを実施する環境・体制等が整っていると認定された学校のことです。

MYP (中等教育プログラム)

MYP (Middle Years Programme) は、11歳～16歳までを対象としており、青少年に、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラムです。これらを通じて、MYPでは、知識を統合された総合的なものとして示し、生徒がより広く、より複雑なグローバルな課題に対する認識を高めることが期待されています。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「MYP (ミドル・イヤー・プログラム)」より

DP (ディプロマ・プログラム)

DP (Diploma Programme) は16歳～19歳までを対象としており、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を取ると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能なプログラムです。「日本語 DP」の対象科目等を除き、英語、フランス語又はスペイン語で実施されます。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「DP (ディプロマ・プログラム)」より



HiGAならではの国際バカロレア に沿った学びの流れ

MYP (中等教育プログラム)

中学校1年生～高校1年生(2学期)

複数の教科の見方や
考え方をを用いて、課題発見・解決

本校では、全寮制という環境を最大限に活用し、生徒の学びと日常生活とを関連づけることで、生徒が学ぶことの意義を実感できるようにしています。MYP (中学校1年生～高校1年生) の学習においては、複数の教科の見方や考え方をを用いて、課題発見・解決を行う学際的単元の学習を行います。本校では、ある教科、更には教室だけで学びが完結するのではなく、様々な場面に応用できる学びを目指して取り組んでいます。

中学校1年生の例

数学と美術のそれぞれの見方を活かした包装紙のデザインを行う。

中学校2年生の例

社会と技術の学際的単元として、エネルギー変換の視点を踏まえ、人々のニーズに応えられる避難所をデザインする。

DP (ディプロマ・プログラム)

高校1年生(3学期)～高校3年生

MYPの学びを生かした
より学術的で探究的な学習

DPでは、MYPで身につけた学び方を生かし、より学術的で探究的な学習に取り組みます。本校では、中高一貫して全ての生徒がIBを通して深く学ぶことにより、一生涯学び続ける学習者の育成を目指しています。

MYPとDPの違い 「社会科で冷戦を扱う場合」

MYPの学習

自分たちで調べた冷戦に関する情報などをもとに、「本当にそうなの?」や「なんでなんだろう?」という視点から、歴史的見方・考え方、文化の多様性への理解などを深る。

DPの学習

冷戦時期の出来事だけでなく、その発端として第二次大戦で米ソが手を組めた理由などの冷戦の背景についても考察し、自分たちの冷戦に関する解釈を構築する。

国際バカロレア資格

大学入学資格取得へ

高校3年生

全生徒がディプロマ取得
を目指します

本校は2020年10月にIBのMYP (中等教育プログラム)、2021年5月にDP (ディプロマプログラム) の認定校となったIB World Schoolです。入学時の中学1年生から卒業する高校3年生までの間に、在籍する全ての生徒が一貫したIBの教育プログラム (MYPとDP) を履修するのは、日本の公立学校で初めてです。

本校では、中学校1年生から高校1年生冬までの期間にMYP、高校1年生冬から高校3年生冬までの期間にDPを履修し、全生徒がディプロマ取得を目指します。



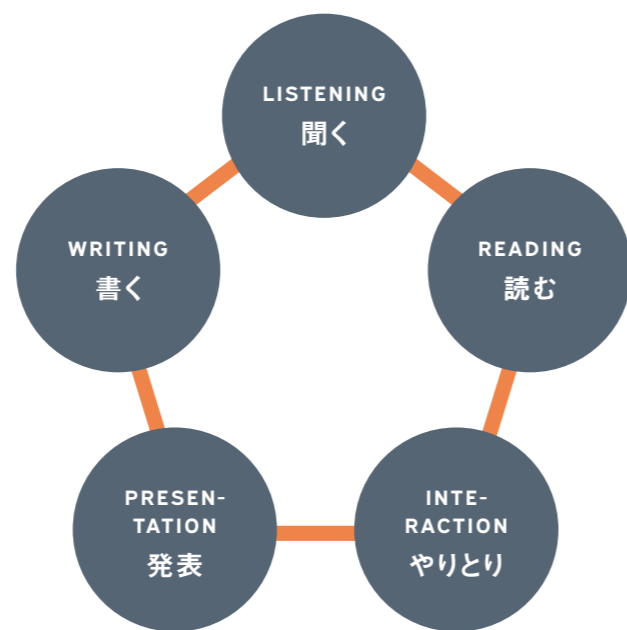
Global Project-Based Learning

生きた英語力

HiGAの寮には、小さな国際社会があり、生徒には真のグローバルな社会に繋がる英語能力を育成する環境があります。

英語の授業ではIB教育の核となるコミュニケーション、文化、創造力、つながりといった概念学習につながるよう、探究的で深い学びを実施しています。これにより英語で様々なテーマについて議論できるようになります。

例えば「コミュニケーションを取る場所によって表現はどう変わるか?」「物語の中での各登場人物のストーリー展開にはどんなパターンがあるか?」「テレビで見る広告はどのように創造的に人を説得させているのだろうか?」といったシラバスを実施しています。



5つの領域をバランスよく

聞くこと・書くこと・読むこと・話すこと（発表・やりとり）の4技能5領域をバランスよく育てていきます。日常会話表現だけでなく、英語で議論したり、論文を書いたりすることができるアカデミックな英語力を育成します。

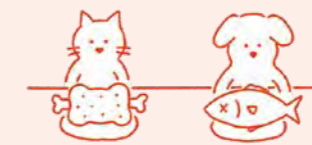
HiGAならではの学習方法

マイクロからマクロへの理解



本物の英語のテキストを用いて、言葉の意味や文法（マイクロ）だけではなく、テキストが書かれた意図やその裏にある文化的な背景（マクロ）を深く理解します。

グローバルな視点で自身を深く知る



世界の様々な文化と人の暮らし方を学ぶことで、異文化理解を深め、自分自身や文化を多角的な視点で見直すことができます。

主体的な多読・多聴



海外の学校が現在推進中の「セルフ・セレクトド・リーディング」学習を実施しています。生徒は一人ひとりに合った本を選び、主体的に語彙力・表現力を伸ばします。本校の図書メディアセンターの本棚の中には5千冊以上の英語の本があり、生徒は気になる本を選ぶことができます。

言語学習だけではない



コミュニケーション力だけでなく、学習を計画し実行する力、失敗を恐れずチャレンジする力など、他の場面にも応用可能な資質能力を身につけます。

レベルに応じた英語検定をステップアップの指標に

本校では、年間2回程度、英語力の指標としてケンブリッジ英語検定を用いた外部評価を行っています。DP（ディプロマ・プログラム）開始の高校1年生の冬までに、全生徒がCEFR B2レベル（下図）に到達できるように、生徒は各自の英語力に応じた目標設定を行います。

C2	1級	C2 Proficiency	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。	熟練した言語使用者
C1	2級	C1 Advanced	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。	自立した言語使用者
高校1年生の冬までにCEFR B2到達を目標				
B2	3級	B2 First / for Schools	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができれば、主要な点を理解できる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。	基礎段階の言語使用者
B1	準1級	B1 Preliminary / for Schools	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。	
A2	準2級	A2 Key / for Schools	自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。	
A1	3級	A1 Movers / for Schools		

(出典) プリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

Own Your Career Journey

将来を見据えた学習プログラム

進路実現に向け、生徒自身が様々なチャンスをつまみながら活躍の幅を広げていきます。

6年間を通してのキャリア形成

国際バカロレアの学びと進路を結びつけ、中高6年間を通して「自分がしたいこと」を常に模索し続けます。

用語解説

- PP (Personal Project)**
生徒個人がプロジェクトを立ち上げ実施する。
- EE (Extend Essay)**
課題論文を執筆する。
- IA (Internal Assessment)**
内部評価課題 (レポート課題) を実施する。
- DP スタイル模試**
中学校3年次に受ける DP の最終試験を模した校内模試。

- DP Exam Week**
Final Mock の前に実施される校内試験週間。各教科の総括的評価課題が実施される。
- Final Mock**
Final Exam 前に実施される校内模試。ここで出た予想スコアをもとに大学に出願する。
- Final Exam**
世界で一斉に実施される公式の試験。年内 12 月 16 日に最終スコアが通知される。
- 5Round System**
様々な方法で、教科書を 5 回繰り返し学習する授業法で英語力を向上させる。

		中 1 / G7	中 2 / G8		中 3 / G9	高 1 / G10	高 2 / G11	高 3 / G12
国際バカロレア認定校 (IB World School) としての キーイベント IBDP のスコアを進路選択に生かせるよう 6年間をかけて支援		10月…学問系統調べ 6月…職業調べ	MYP		6月…DP Style Mock 9月…DP 授業見学③ 12月…DP 科目選択 1月…PP 開始	9月…PP 最終提出 1月…DP 開始	5月…EE 開始 7月…DP Exam Week ① 9月…IA 開始 3月…DP Exam Week ② 2月…EE 最終提出	4月…IA 終了 7月…Final Mock 11月…Final Exam 12月…Final Exam 結果通知
高い英語力の育成 英語で、海外の人と対等 以上に交流・交渉ができる 生徒を育てることのできる カリキュラム		目標値 CFER A1 Flyers / Movers	A2 Preliminary		B1	B2 First / Key	C1 IELTS / TOEFL	
英語科		中1教科書	中2教科書	中3教科書	実践的な英語力育成のため 習熟度別で行う独自のカリキュラム		DP English B	
外部プログラム (オプション) ※1		[夏休み] フィリピン セブ語学留学 — 語学学校&寮に滞在 [夏休み] フィジー語学留学 — 語学学校&ホームステイ滞在				[9~12月] イギリス ルシン高校留学 A Level の授業に 3ヶ月間参加※2		
進路支援 多様な進路選択を可能にすることが できるよう幅広い課外活動を準備		視野と可能性拡張期間 ・大学訪問ツアーへの参加等により、大学の選択肢を広げる ・教育課程内外の学びにおいて、専門家等との出会いを通じて、自身の興味・関心について探究する					出願準備期間 ・出願予定大学のオープンキャンパス 参加 (現地 / オンライン) ・専門家や大学と連携した IA 及び EE の実施	
		国内大学ツアー ・国内の大学研究室や企業等の訪問ツアーに参加 海外大学ツアー ・ヨーロッパやアジアの大学の訪問ツアーに参加					出願期間 ・大学への出願 ・奨学金への出願 ・Personal Statement の推敲	

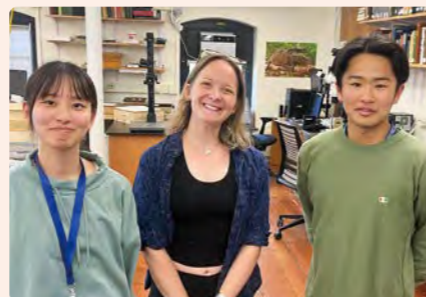
※1…本校では、令和7年度より海外の修学旅行を実施せず、令和5年度から段階的に、生徒のニーズにあった、多様なプログラムを準備しています。これらのプログラムには、奨学金対象のものもありますが、原則、個別のプログラム費用がかかります。
※2…校内選考有り

海外へのチャンスを自分の手で 留学支援制度を活用し、積極的に海外へ挑戦する生徒が増えました

CASE STUDY 01.

笹川平和財団 米国大学ツアーへの参加

笹川平和財団が主催する米国大学ツアーに参加し、東海岸の6つの大学 (Harvard University, MIT, University of Pennsylvania, University of Princeton, Williams College, Swarthmore College) を見学しました。大学訪問では各大学の主催するインフォメーションセッションやキャンパスツアーに参加した他、財団の奨学生をはじめとする現地の学生と交流する貴重な機会が多々ありました。ツアーを通じてアメリカの大学の特徴であるリベラルアーツや多様な価値観が交差する環境を実際に体感したことで、新しい選択肢を得ることができ、キャリアの視野が大きく広がる良い機会になりました。



令和6年度に高校2年生2名が参加しました。

[公益財団法人笹川平和財団]
に関する詳細はこちら



左記 QR コードからご覧頂けます。
URI : www.spf.org

CASE STUDY 02.

トビタテ! 留学 JAPAN への参加

トビタテ! 留学 JAPAN 8 期生として、アイルランドのダブリンへ約 3 週間留学に行きました。語学学校に通い英語力の向上に努めるとともに、自身が興味のある環境問題について「他国の現状を知り、今の自分にできることと将来取り組みたいことを明確化する」というテーマで探究活動を行いました。留学では、探究活動を充実させるだけでなく、様々なバックグラウンドを持った人々との交流を通じて、これまでなかった価値観や考え方を吸収することができました。現地では、ホストファミリーと巻き寿司を作るなどの活動も行い、日本の文化に興味を持ってもらうことができました。今後は、後輩に向けて留学の魅力や学びを紹介し、校内で留学に興味を持つ人を増やしたいと考えています。



令和5年度に高校1・2年生3名参加しました。
令和6年度に高校1・2年生が5名参加予定です。

[トビタテ! 留学 JAPAN]
に関する詳細はこちら



左記 QR コードからご覧頂けます。
URI : tobitate-mext.jasso.go.jp/about/



Creating Our Future 未来創造科

戦争、貧困、環境、エネルギー、食糧、少子高齢化、地域の衰退…。世の中には、たくさんの課題があります。社会で起きている様々な出来事について、「自分たちで課題を設定し、国籍や文化の違いを超えた仲間たち力を合わせて、課題の解決にチャレンジする」。そして、「テレビや新聞に載っている課題」から、「自分たちの課題」に変える。これが、本校の教育活動の核となる「未来創造科」(Creating Our Future)です。



私たちが創る幸せな未来

変化が激しく先行きが見通せない時代において、どのようにすれば豊かに生きていくことができるのか。未来創造科では、「WELL-BEING 幸福」「ENVIRONMENT 環境」「PEACE 平和」というテーマについて、仲間、家族、地域や専門家の方々との対話やプロジェクトを重ねてそれぞれの答えを見つけていきます。

6年間を通して学ぶ“ここ”でしかできない学習活動



専門家との出会い

様々な分野で活躍する専門家の方々に授業にお招きします。「大きな考え方」「研究内容、プロジェクトの実施方法」「ものごとを成し遂げるための熱い想い」など、プロジェクトを社会実装するために必要な知識、スキル、マインドを学びます。



学びのフィールド

学びのフィールドは学校ではありません。対象者へのインタビュー調査、地域の方との対話、企業や団体でのインターンシップ、自分たちで考えたプロジェクトの実装等を大崎上島、広島、全国で展開します。様々なフィールドで挑戦することによって、生徒達は自らの可能性を広げていきます。



Student Choice & Voice

学びの主体は生徒であり、生徒の選択は大切にされます。「どんな課題を設定するのか」「誰に向けたプロジェクトなのか」「いつ実行するのか」「どのように表現するのか」授業の中で生徒たちは選択を繰り返し、活動に責任を持つことによって、それぞれが最高の「学び」を創っていきます。



Environments Enabling Student Efficacy

マネジメント力を伸ばす学習環境

一人ひとりの生徒が主役

ここでは、「教師が教育を提供する側、生徒は教育を受ける側」ではありません。「教師も生徒も、一緒に教育を創る側」。生徒一人ひとりの「こんな学校にしたい」「こんな授業にしたい」という思いが、HiGAを創ります。



先生はファシリテーター

授業の主役は生徒です。彼らの成長と学びを最大限に引き出すため、生徒一人ひとりの個性と能力を尊重し、未来への可能性を広げることが私たち教員の使命です。



ここで学び、身に付けたスキルは世界中の様々な場所で生かすことができます。
このスキルは生徒たちの活躍のチャンスを増やしてくれます。



プロジェクト型の学び

「成功」も「失敗」もある「プロジェクト」へ。チャレンジすることは「成長のきっかけ」になり、子供たち自身で学びを深めることができる環境がHiGAにはあります。



一人ひとりの「知りたい」という思いから自発的に探究

一人1台のICT端末を用いて、いつでもどこでも学びを深めます。

学校生活で培われるもの

学習の中では、島の外に出たり、島の中でさまざまな人と交流したりしながら進めていくようなプロジェクトも行われます。私は、実際にこのようなプロジェクトや活動を通して、コミュニケーション能力や、自分の意見を積極的に相手に伝える力をつけることができたと感じています。また、HiGAでは学びだけでなく、時期によって様々なイベントがあります。このようなイベントは、先生だけでなく、生徒たちが積極的に自分たちで作っていくことができます。このように、HiGAでは学び以外にも、プロジェクトやイベントなど、自分たちで積極的に作り上げ、全力で楽しめるような行事が多くあります。

From HiGA Student

社会全体が私たちの学び舎

私たちの学びの場は、学校内だけではなくありません。「社会全体が私たちの学び舎」を合い言葉に、積極的に学校の外に飛び出し、様々な場所で学びを深めます。



広島で学ぶ、広島を学ぶ

世界中から多くの観光客が訪れる広島。戦後復興等の歴史や世界遺産など、広島ならではの学習活動を行います。



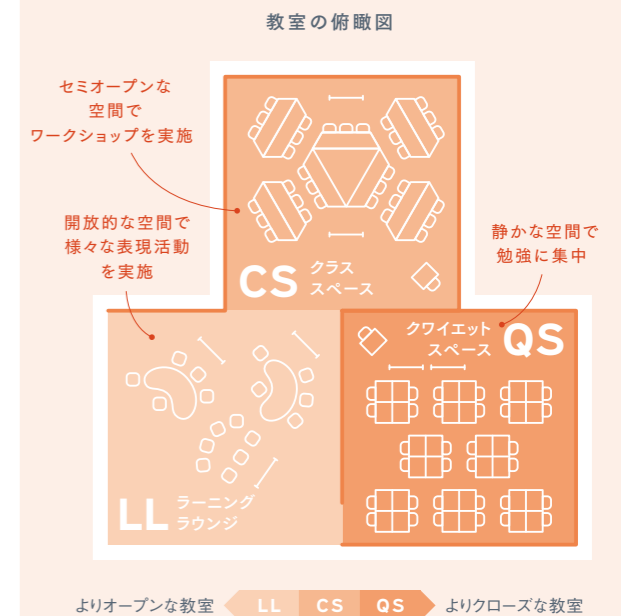
瀬戸内海は最高の教材

山・海に囲まれた最高の自然環境や、そこで暮らす地域の人から様々なことを学びます。

多様な学習を可能にする環境

これまでの「教室」は、四方が囲まれた閉鎖的なもの。でも、本校の教室は、家でいう「リビング」です。オープンな環境の中で、リラックスして学ぶことができます。一人1台のICT端末、プロジェクター、ホワイトボード、模造紙など、生徒たちのCollaboration、Innovation、Creationを支える環境が整っています。

様々な授業スタイルに対応できる3タイプの教室



授業以外の時間も自由に学習

教室以外のスペースも活用して仲間と共に学習を進めています。



HiGA

HiGAでの暮らし

生徒全員で暮らす寮生活。個性や文化の違いを尊重した生活の中で、思いやりを重んじる協働の心を大切に、自主自律の力を育き、仲間との信頼を築いていきます。

安心・安全で、Well-being な寮生活を目指しています。



寮生活で重点的に育成する力

自己管理能力の育成

グローバルマインドの育成

人・地域との繋がりを大切にする心の育成

4つの視点から知る HiGAでの暮らし

1 仲間と学び仲間と暮らす

P.23

2 リラックスして生活できる環境

P.25

3 美しく豊かな自然の中で学ぶ

P.27

4 人も自然も魅力いっぱいの大崎上島

P.29



Live and Learn with friends

仲間と学び仲間と暮らす

平日の1日のながれ 自分で1日のスケジュールを考え、自己管理能力を培います。

6 点呼・健康観察 **7** 朝食 **8** 登校前 / 寮生活 **9** 健康観察 **10** 午前の授業 **12** 給食 **13** 掃除・SHR **14** 午後の授業 **16** 放課後活動 **18** 夕食 **20** 入浴・自主学习 **22** 自由時間 **23** 消灯

起床 **おはよう!**
健康観察は、各ユニットのリーダー。生徒が中心に行います。

朝食 **おいしいご飯で1日頑張ろう**
朝食をしっかり食べて一日のエネルギーをチャージします。

授業 **お待ちかねのランチ!**
みんなで会話を楽しみながら食事を摂ります。

昼食 **掃除**
中高共に普段使用している教室を時間いっぱいきれいに清掃します。

放課後 **放課後活動**
放課後も大切な学びの場。週2回のA4LC(部活動)を通じて、仲間と共に目標の達成を目指したり、自己実現に向けたプロジェクト学習などを行います。先生から伝えられた活動や練習のみを行うのではなく、自ら課題を見つけ、解決に向けて考え動くという活動も行っています。

洗濯入浴 **仲間との絆を深める場**
自然と会話が生まれるランドリーラウンジでは洗濯と乾燥ができます。また、ゆとりある大浴場と個室のシャワー室を完備しています。

自由時間 **夜のリラックスタイム**
ユニットメンバーが開放的なリビングに集い、自治活動や1日の振り返りを行います。

夕食 **1日お疲れ様!**
夕食はユニットメンバー揃っていただきます。

学習 **ハウスマスターが学習をサポート**
入学当初は集団学習を行い、学習習慣を確立させます。より計画的で自律した高校段階での学びを見据えて、寮の居室内での自主学习を大切にしています。

仲間とともに学び合う
生徒の協働的な学びを基盤とする生徒主体の授業が展開されます。学びのフィールドは校内だけでなく、校外にも広がっていきます。

栄養教諭からのことば

“HiGAごはん”で心と体の成長を

本校では、週末も含めて、1日3食を校内で調理・提供しています。提供する食事は、栄養教諭や栄養士が献立を作成し、調理員が学校の食堂の中で調理をしています。親元を離れて生活する生徒にとって、食事は最も楽しみなことのひとつだと考えています。生徒からの感想や食事の様子を見ながら、献立の振り返りと改善を繰り返し、おいしくて栄養満点の食事を追求しています。未来を担う生徒一人ひとりの健やかな成長を「食」を通してしっかりと支えていきます。



From HiGA Student

寮での生活

HiGAの大きな魅力が寮生活だと思います。朝から晩まで友達と一緒にいるので、嬉しかったことや楽しかったことなど、思いをすぐに共有できたり、勉強をお互い教え合ったりできて、とても楽しいです。また、先輩や寮のスタッフの方、先生方がサポートしてくださり、安心して生活したり勉強したりできる環境が整っています。いろいろな方々のサポートで、寮生活を通して自律の心や思いやりの心などを育てることができます。

異年齢・多国籍の ユニットでの 共同生活

集団(ユニット)を構成し、共同生活を送ります。個室と2人部屋があり、各部屋には、落ち着いて学習できるスペースとベッドを完備。また、開放的なリビングでは、ユニットメンバーの交流が自然と生まれます。ユニットではリーダーが中心となり、後輩たちの支援や指導を行います。



ハウスマスターが 多角的にサポート



HiGAの寮では、10人単位のユニットでユニットリーダーを中心に、各メンバーが協力して生活をします。様々な価値観をもった生徒が集まるユニットでは、楽しいことも困ることもあります。困ったことがあった時は、ユニットの先輩たちはもちろん、私たちハウスマスターや、ハウスサポーターも皆さんの生活を支えます。大崎上島で生まれ育った人や島外から島に来た人など、いろいろな寮スタッフがあります。悩みごとはもちろん、学校であったこと、好きなスポーツの話など、いろんな話をしましょう!



A Harmonious Home Atmosphere リラックスして 生活できる環境

様々なスタッフがサポートしながら、
ユニットリーダーを中心に生活環境を整えていきます。
楽しく笑い合い、ぶつかり思い悩み、
その感情を共有できる6年間の時間が
一生の思い出になります。

サポート体制

「ハウスマスター」又は「ハウスサポーター」が寮管理棟に常駐します。また、教員も宿日直勤務により生徒を見守るなど、サポート体制を整えています。

セーフティ

各ユニットには、人数分の防災セットを常備しており、火災、地震、津波に対する避難訓練も定期的に行っています。島内には、内科、外科、歯科があり、日常的な病気やけがには十分対応可能です。万一の事態には救急艇やドクターヘリが稼働します。

セキュリティ

寮スタッフが常駐する管理棟を通過しなくては、寮がある「生活エリア」には入れません。また、男子寮と女子寮の間を行き来することはできません。寮周辺はフェンスや警戒センサーで取り囲み、防犯カメラや電気錠のゲートを設置するなど、安心・安全な環境を整えています。

安心して暮らせる環境づくり

寮では1年を通して様々なイベントが行われます

4月

対面式

新入生と在校生の初めての顔合わせ。どのユニットに所属するかが発表されます。



6月

スピリットウィーク

寮のユニット、学年、または部活動ごとに決められたお題に沿った服装や髪型をして登校する1週間があります。



7月

夏祭り

生徒自身で考えたイベントを行うミニ夏祭り。みんなで夏の風物詩を味わいます。



9月

ユニット替え

半年に一度、部屋替えをします。半年間一緒に過ごしたメンバーに感謝を伝え、新たなメンバーとの生活をスタートします。



11月

オータムフェス

歌やダンス、コントなど様々なジャンルのステージを披露します。また世界の伝統文化に触れる機会もあります。



月1開催

ユニットミーティング

各ユニットリーダーを中心に集団生活の様々な課題を共有し、話し合いを行います。



知的好奇心を刺激する、実験や演習を通じた探究活動空間。



1 サイエンスセンター

数学科・社会科を中心に授業が展開される教室空間。



2 教社教室棟

感性を磨く、ものづくりを重視した表現・創造活動空間。



3 アート&クラフトセンター

本校の「知」の拠点。多様な集団による協働・創造活動を支援。



4 図書メディアセンター

海岸沿いの広大なスポーツエリア。



9 グラウンド

テニスコート3面、バスケットコート1面を完備。



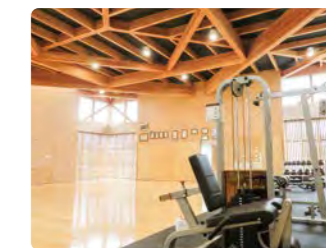
10 テニス・バスケットコート

開放的なスポーツ空間。



11 体育館

独創的でアクティブな活動空間。武道からダンス、ヨガなど、多目的に活用。



12 小体育館

Learning Nurtured by Nature

美しく豊かな自然の中で学ぶ

多島美や自然の豊かさから、海外からも注目を浴びる瀬戸内海。そのほぼ中央に位置する大崎上島に、本校は誕生しました。豊かな自然に囲まれ、のびのびとした全寮制のキャンパスは、生徒の知的好奇心や感性を育みます！



5 言語教室棟



国語科・英語科を中心に授業が展開される教室空間。

6 F.L.A(フレキシブルラーニングエリア)



教室棟のF.L.A。どんな活動にも柔軟に対応、生徒の動線上にある多目的な活動空間。

7 学びの回廊



本校のシンボル。授業の合間、生徒たちが語らう憩いの場となります。

8 管理棟(職員室・事務室)



多国籍なスタッフが常駐。生徒の学園生活を温かくサポート。

13 寮ハウス



異年齢・多国籍の仲間と暮らす、メゾネットタイプの快適な居住空間。

14 カフェトリウム



コンサートやミュージカルも開催！ホールも兼ねた開放的な食事空間。

15 カフェテリア



自然に会話が盛り上がる空間。家庭科室のほか和室等も完備。

16 芝広場



多様な交流が新たな価値を創出。イノベーションを生み出す源泉。

Delightful Locals and Landscape

人も自然も魅力いっぱいの大崎上島

瀬戸内海の真ん中に浮かぶ大崎上島。

まずは是非一度、ご家族でお越しください。

本州から島までは、約30分のフェリーの旅。

島内の神峰山から見える多島美は、

きっと忘れられない景色になることでしょう。



大串海水浴場

白い砂浜が約1kmも続く外浜海岸に隣接する風光明媚なロケーション！



大自然を味わいつくす

海水浴・シーカヤック・キャンプなど大自然でのアクティビティを満喫できます！



瀬戸内の多島美を一望

瀬戸内海国立公園に指定されている神峰山（標高453m）からは瀬戸内海に浮かぶ大小115の美しい島々が眺望できます！



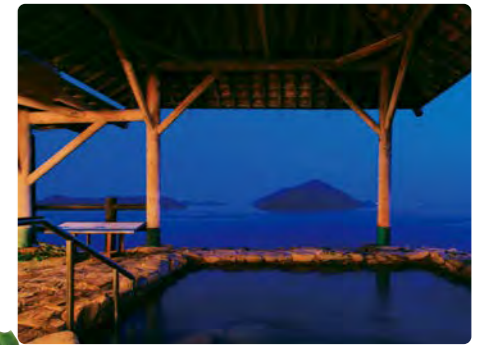
教育環境

島内には小学校3校、中学校1校のほか、県立大崎海星高等学校や三原特別支援学校大崎分教室、国立広島商船高等専門学校があります。



温暖な島の「うまいもん」

季節になれば、瀬戸内の太陽をいっぱいに浴びたレモン・みかん・ブルーベリーなどがたわわに実り、フルーツの優しく甘い香りに包まれます。



ゆったり温泉で癒される

眼前に広がる瀬戸内海の大パノラマを堪能しながら、のんびりゆったり絶景露天風呂で癒されます。



夏を彩る伝統と祭り

200年の歴史を持つ伝統行事「權伝馬競漕（国土交通省『島の宝100景』）」や夜空と海面に映える幻想的な花火は圧巻です！



地域交流

島親さんを含め、地域の方々が私たちにたくさんのお愛をかけてくださいます。多くの生徒が地域行事にも参加しています。

広島から竹原港へのアクセス		
広島空港⇒竹原港	バス約30分	7便/日
広島駅⇒竹原港	バス約70分	12便/日
広島バスセンター⇒竹原港	バス約85分	12便/日

大崎上島へのフェリーでのアクセス		
竹原港⇒垂水港・白水港	約30分	32便/日
安芸津港⇒大西港	35分	16便/日
大崎下島⇒明石港	15分	10便/日
今治・宗方港⇒木江港	約70分(今治～) 15分(宗方～)	6便/日

※交通状況等により、所要時間が大幅に変更になる可能性や、上記が最短のルートとはならない場合があります。事前にご確認ください。



Sharifah Nassanga

A Ugandan student at HiGA for the past two years. This experience has been transformative, helping her to grow academically and personally. She is passionate about International Studies and aspires to make a positive impact on society by giving back to her community and promoting compassion.


ウガンダ出身。2022年HiGA入学。HiGAでの経験が学問的にも個人的にも成長につながった。国際研究に興味があり、社会にポジティブな影響を与え、コミュニティに貢献し、思いやりのある世界を作ることを目指している。

— The Essence of the IB Journey —


To future students, an IB course is more than a diploma; it's about gaining a global perspective, critical thinking, and a sense of purpose. Embrace challenges, explore your interests, and remember that learning is a lifelong journey. Stay true to yourself and always strive to be your best.

未来の生徒の皆さんへ。IBコースは単なるディプロマ取得のためではなく、グローバルな視野、批判的思考、そして目的意識を身につけることが求められます。そして、果敢に挑戦し、自分の興味を探究し、学び続けることが大切です。自分に正直であり、常に最善を尽くしていきましょう。

OTHER VOICE



I have begun to learn more about my ideas, values, and ways of studying that are more appropriate to my needs, time, and long-term goals.
自分の考え方や価値観、ニーズや時間、長期的な目標に合った勉強の仕方などを知ることができるようになりました。



The reason why I chose HiGA is that the school is very unique. HiGA emphasizes group work and respects the ideas of each person.
私がHiGAを選んだ理由は、この学校がとてもユニークだからです。HiGAはグループワークを重視し、一人ひとりの考えを尊重します。

広島県立広島叡智学園
中学校・高等学校校歌

作詞 広島叡智学園 第1期生
池田 耕二 (広島叡智学園教職員)
作曲 池田 耕二

It's gifted to us on this holy island in the Seto inland sea.
We promise what we'll accomplish
for those who made their dreams come true here long ago.
Although the billows block the way, we keep going.
We'll move forward on the front lines until we see.
This we will do for everyone's well-being.
Let us learn wisdom so we will find the way to go.

清らかな水面に映ゆるこの瀬戸の地に
積年の夢遂げた先人へ誓おう
時を先駆けこだまする想いは大洋を越えて
諸人の待つ未来へいざ育まん我が叡智を

[英文和訳]

我々は瀬戸内にあるこの神聖な島で
それを受け継いだ
かつてここで夢を成し遂げてきた
人々へ我々が達成すべきことを誓う
大波が行く手を阻もうとしても
我々はその間に先頭に立ち進み続ける
全ての人の幸せの為に
我々が進むべき道を見出す為の知恵を賜う

本校が建てられた土地は、かつて地域住民による干拓事業によって開かれ、その苦難を描いた物語が演劇を通して地元小学校の児童たちに語り継がれている。この歌詞は、未来の繁栄を願って干拓に関わった人々や本校の設立に携わった人々の思いを受け継いだ者として、広島叡智学園の生徒がグローバルな視野に立ち、社会の持続的な平和と地域や世界のより良い未来を創造するリーダーとして国際社会に貢献することを目指した学校のビジョンを表している。また英語の歌詞においてそれぞれの行の最終単語は韻を踏んでいる。

校歌を視聴できます
左記 QR コードから視聴することができます
URI: higa-s.jp/about/overview/

From HiGA Student

校歌に想いを込めて

私たち1期生有志は、先生が作成した曲に合わせた作詞を、開校2年目を迎えたあたりから作成し、およそ1年間かけて完成しました。この校歌は、一音一音を生徒一人ひとりの個性として表現しています。多くの音を使用しても音の響きが混雑することなく一つの曲としてまとまっている様子は、HiGAの生徒一人ひとりがそれぞれの背景で育ち、多様な考え方をしていることをお互いに認識しながら個性を認め合い、HiGAというコミュニティとしてまとまっている様子を表しています。また、歌詞の一番は英語、二番目を日本語にすることにより、HiGAの特徴であるグローバルな学校を表しています。

学校概要

設置形態	併設型中高一貫教育校
課程・学科	全日制課程普通科
学期	3学期制
学校規模	中学校：1学年40人 高等学校：1学年60人
寄宿舍	設置(全寮制)
卒業資格	日本の高等学校卒業資格 国際バカロレア(IB)資格

学費・寮費

	中学校	高等学校
授業料 ^{*1} 月額	—	9,900円
諸費 ^{*2} 月額	0.9万円程度	1万円程度
寮費 ^{*3} 月額	4.3万円程度	4.2万円程度
月合計 ^{*4}	5.2万円程度	6.2万円程度

※1 授業料について、中学校は無償です。高等学校については、一定の収入額未満の世帯の生徒に対しては、高等学校等就学支援金として、授業料相当額が支給されます。
 ※2 諸費には、教育活動費(教材費、英語に関する外部検定試験の受験料、学習に関するオンラインプラットフォームの使用料等)が含まれます。
 ※3 寮費には、食費、光熱水費、共益費、活動費などが含まれます。
 ※4 諸費及び寮費は見込額であり、今後変更となる場合があります。

その他の負担

- ・高等学校入学金(5,650円)
 - ・学用品費等(学習用ノート型パソコン、楽器、グラフ電卓等、教科書(高等学校のみ))
 - ・プロジェクト学習などの学習活動に係る交通費等(海外の場合も含む)
- ※ 学用品費等の具体的な金額については、入学予定者説明会において、お知らせいたします。
 ※ プロジェクト学習などの学習活動に係る交通費等の具体的な金額は、生徒たちが決定する学習活動の内容によって異なります。
 ※ 高校3年時には、IBの最終試験及びIBDPの大学出願に伴う成績証明証発行費用、国内及び海外大学への出願費用等がかかります。IB関係費用及び海外大学出願費用等は、すべて外貨での請求となるため、通貨レートの変動等により、費用が変動します。

保護者負担の軽減に関する各種支援制度があります
 詳しくは、広島県教育委員会へお問い合わせください。

中学校入学までのスケジュール

出願書類等受付	令和6年10月28日(月)～11月8日(金)
第1次選抜	令和6年11月24日(日)
第2次選抜	令和6年12月25日(水)～12月27日(金)
合格者発表	令和7年1月10日(金)
入学予定者説明会	令和7年2月
入学式	令和7年4月

※ 第1次選抜、第2次選抜いずれも、広島県内で実施します。
 ※ 第2次選抜は、第1次選抜の通過者を対象として実施します。

中学校生徒募集

応募資格	次のいずれかに該当する方が出願できます。 ①令和7年3月に小学校若しくはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者又は義務教育学校の前期課程を修了する見込みの者 ②令和7年4月に中学校又はこれに準ずる学校の第1学年への入学対象となる者
募集人数	40人
検査の内容	第1次選抜 適性検査 第2次選抜 グループワーク・面接 ※第1次選抜、第2次選抜とも、「英語力」については検査しません。

※ 詳細については、「入学者選抜実施要項」(9月公表予定)にて、お知らせします。
 ※ 広島県外在住の方も出願できます。

高等学校生徒募集

応募資格	次のいずれかに該当する者が出願できます。 ①外国籍を有し、平成20年4月2日～平成22年12月31日に出生した者で令和7年8月までに中学校を卒業した者又は卒業見込みの者。 ②日本国籍を有し、平成20年4月2日～平成22年4月1日に出生した者で令和7年8月までに中学校を卒業した者又は卒業見込み、かつ、海外の学校での修学期間が5年以上ある者。
募集人数	20人 ※ただし、広島散智学園中学校からの入学人数により、20名以上となる場合があります。
検査の内容	書類審査を通過した者に対して、提出書類に基づいた面接及び口頭試問を行います。

※ 詳細については、「令和7年度広島県立広島散智学園高等学校外国人等生徒を対象にした入学者選抜実施要項」をご確認ください。



